

JF-IETF-RFC6724

IPバージョン6(IPv6)の デフォルトアドレス選択

Default Address Selection for Internet Protocol
Version 6 (IPv6)

第1版

2018年8月29日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（一社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（一社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC 6724 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2018年8月29日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC 2119, RFC 3056, RFC 3870, RFC 4193, RFC 4291, RFC 4380, RFC 4862, RFC 4941, RFC 6145

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、送信元アドレスの選択と宛先アドレスの選択の2種類のアルゴリズムを規定する。このアルゴリズムは、全てのIPバージョン6 (IPv6) 実装のためのデフォルト動作を規定する。このアルゴリズムはアプリケーションや上位層プロトコルによる選択を無効化することや、より高度なアドレス選択メカニズムの作成を妨げるようなことはしない。この二つのアルゴリズムは共通のコンテキストを共有し、それは管理者によるデフォルト動作を上書きするポリシーの提供を許容するオプションメカニズムを含む。デュアルスタック実装においては、宛先アドレスの選択アルゴリズムはIPv4とIPv6の双方のアドレスを考慮することが可能である。つまり、利用可能な送信元アドレスに応じて、IPv4アドレスよりIPv6アドレスが適切な場合があり、また、その逆の場合もある。

本標準で規定するデフォルトアドレス選択は、ルーターとホストを含む、全てのIPv6ノードに適用する。本標準はRFC3484を廃止する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は以下のIETF RFCによる。

IETF RFC6724: 「Default Address Selection for Internet Protocol Version 6 (IPv6)」